

別表

4 単元の指導計画・評価計画

(1) 指導計画

	学習活動	評価の観点				評価の規準【評価方法】
		知識	技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	
1 時間目	<p>1. 製品計画の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ■商品計画の概念には多様な捉えかたが必要であることを認識しその内容を主体別に整理する。 ■製品計画は、企業の利益の実現と持続可能な社会づくりの発展に関連することを認識する。 ■製品計画の4つの内容について理解し、諸要素についても総合的に判断することの重要性を認識している。 			○		<p>【思考・判断・表現】 (ワークシート)</p> <p>マーケティングにおける製品計画の位置づけと重要性を持続可能な社会づくりの発展に関連して考察することができる。</p>
2 時間目 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ■地域課題解決学習においてマーチャンダイジングの5原則の考えを適用し、既存サービスの改良や新用途の開拓について考察する。 			○		<p>【思考・判断・表現】 (ワークシート)</p> <p>マーケティングにおける製品計画の位置づけと重要性を把握し、課題解決学習に関連して考察することができる。</p>
3 時間目	<ul style="list-style-type: none"> ■商品開発においてP B商品の発展がどのような消費者志向と結びつくのか、市場調査との関連性と含めて考察する。 ■製造物責任法について理解するとともに3 R政策の内容についても理解する。 				○	<p>【関心・意欲・態度】 (ワークシート)</p> <p>SDGsに興味・関心を持っており、循環型社会に貢献しようとする考えや態度が見られる。</p>
4 時間目	<p>2. 製品ミックスと製品政策</p> <ul style="list-style-type: none"> ■製品アイテム・ライン・ミックスの関係を明確に把握し、製品ミックスの拡大と縮小について理解する。 ■製品標準化政策と多様化政策を対比させ、その違いについて説明することができる。 	○				<p>【知識・理解】 (ワークシート)</p> <p>各製品政策について、企業と消費者の両者の立場から、メリット・デメリットを理解している。</p>
5 時間目	<ul style="list-style-type: none"> ■市場の状況など製品のライフサイクルの各段階と製品政策を関連づけて考察することができる。 		○			<p>【技能】 (ワークシート・観察)</p> <p>各製品政策の実態や市場の状況などに興味・関心を持ち、企業のマーケティング活動における差別化を意識している。</p>